

主催：開業臨床心理士協会

〒446-0031 愛知県安城市朝日町2-1

【全体テーマ】「臨床心理士の未来 — 開業と社会 —」

日時 2017年2月11日（祝日・土曜日）10時00分～16時15分

会場 京都テルサ (<http://www.kyoto-tersa.or.jp/gaiyo.html>)

1年半後には新しい資格（公認心理師）を持った心理士がこの業界、社会に参入してくることとなり、臨床心理士の未来がどうなっていくのか、誰にも予測することが困難な時代に入りました。資格や業務のあり方、住み分けといった問題を越えて、そもそも臨床心理士の理念は何であったのか、今後どういうものであるべきなのか、今臨床心理士は何を重視すべきなのか、改めて問われています。

臨床家はクライアントの方々に対する個々の臨床活動を通じて社会に参加することを許されている存在です。また臨床心理士は、社会の底流の変化、社会のあまり表に出ない問題を深くキャッチすることができるポジションにもいます。臨床の知は、臨床活動に内在する知ばかりでなく、クライアントが生活している社会や臨床家が生活している社会について、知ることでもあります。私たち開業臨床心理士は、臨床と社会の接点に位置すると言っても過言ではありません。開業臨床心理士の未来がどうなっていくかは、臨床心理士や公認心理師の未来への問いに重なるでしょう。

私たちは、こうした問いを持ちながらも、しかし安易な答を求めることなく情勢論に陥ることなく、日々クライアントに向き合うという変わらぬ現実の前にいることを重視し、その中からこうした問いかけに関連する「何か something」をつかんでいこうと考えています。

今回は京都で開催します。関西地区に限らず、開業されている方、将来開業をお考えの方、そしてまた開業心理臨床に関心をおもちの臨床家や大学院生の方のご参加をお待ちしております。

<プログラム>

※当協会会員は敬称略

9:30 受付開始

10:00 開会の挨拶：会長 宮地幸雄（岐阜カウンセリング研究所）

午前の部；基調講演『臨床心理士の未来—開業と社会—』

講師：渡辺雄三（渡辺雄三分析心理室・人間環境大学大学院）

司会：鈴木 誠（くわな心理相談室）

指定討論：広瀬 隆先生（帝塚山学院大学、北大阪こころのスペース）

仙道由香先生（新大阪心理療法オフィス）

全体討論

12:30 昼休み

13:30 午後の部；「臨床素材を通じて；フルタイム開業とパートタイム開業の実践」

司会；手束邦洋（手束心理言語臨床研究所・目白台心理相談室）

① 臨床報告；仙道由香先生（新大阪心理療法オフィス）

指定討論；栗原和彦（代々木心理相談室）

② 臨床報告；広瀬 隆先生（帝塚山学院大学、北大阪こころのスペース）

指定討論；平井正三（御池心理療法センター）

14:50 休憩

15:00

全体討論

16:00 閉会の挨拶

亀井敏彦（はこ心理教育研究所）

参加資格・参加費：臨床に携わっている専門家(9,000円)、臨床系大学院生(6,000円)。

申込方法；参加を希望される方は、①氏名、②住所、③所属（パート開業の方は本職と開業先を連記）、④職種、⑤臨床心理士資格の有無、⑥パソコン・メールアドレス、⑦電話番号、⑧当セミナーをお知りになった経緯、を明記の上、事務局までパソコン・メールにてお申し込み下さい。仮受諾返信と共に参加費の振込先をお知らせします。定員（90名）に達し次第、締め切らせていただきます。日本臨床心理士資格認定協会への研修申請を予定しています。 Email：koizumi0@amber.plala.or.jp

※当協会へのご入会を検討されている方は、事務局までメールにてお問い合わせ下さい。